

こすもす

発行日：令和2年1月4日

発行者：市原市更級5丁目1-51

市原市立中央図書館 

よくよむ

TEL 0436 (23) 4946

http://www.library.ichihara.chiba.jp

新年あけましておめでとうございます。
今年も中央図書館をよろしくお願ひします。



文学講座・特別講演会のお知らせ

「楽しく・ふれあい『更級日記』」

かがみ さちこ

講師：加賀美 幸子氏

加賀美氏と共に「声に出して味わう」楽しい講座です。

日時：令和2年3月11日(水)

【開場】午後1時【講演会】午後2時～午後3時30分

場所：市原市市民会館小ホール

定員：400名

受付開始：1月15日(水)午前9時30分～中央図書館内
中央カウンターまたは電話にてお申込みください。

※手話通訳あり

問合せ先 市原市立中央図書館

電話 0436-23-4946



《プロフィール》

1963年 NHK入局。

局長級アナウンサーを経て女性初の理事待遇となる。

現在もアナウンサーとして活躍する傍ら、千葉県男女共同参画センター名誉館長・NPO日本朗読文化協会名誉会長・放送人の会理事。著書は、『こころを動かす言葉』『ことばの心・言葉の力』『源氏絵物語～原文朗読つき』『ことばの心に耳をすませば』等多数。



中央図書館映画会



大人のための映画会

1月11日(土)	洋画『皇帝ペンギン ただいま』	日本語字幕 85分
1月19日(日)	邦画『生きてるだけで、愛。』	日本語 109分

時間 いずれも午前10時と午後2時から上映
子ども向け映画会

1月12日(日)	① 盲導犬クイールの一生	アニメ 25分 29分
	② 14ひきのこもりうた	
1月18日(土)	おしりたんていシリーズ3	邦画 60分

時間 いずれも午前11時と午後2時から上映

人数 いずれも各回先着50人

費用・参加方法 無料・当日直接2階視聴覚ホールへ
その他 上映30分前から受付開始

知の情報拠点



さまざまな講座・講演会を開催しています。

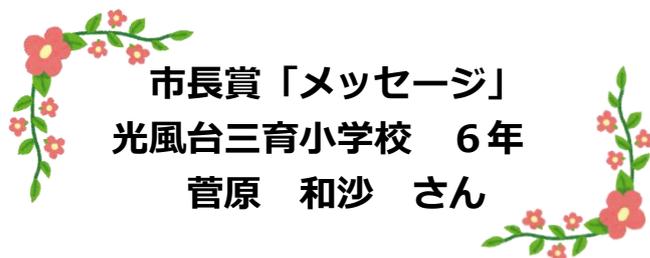
図書館では、1年を通してさまざまな講座や講演会を開催しています。市原の歴史を学ぶ情報満載の「歴史講座」や著名な作家を招いて行う「文学講座」、子どもを対象とした「子どもと読書講座」、医療・健康、ビジネス支援、法情報などの様々な情報を提供する「知の情報拠点活用講座」などがあります。御案内は、広報いちほらや図書館のウェブサイト、館内ポスター、ちらしなどでお知らせしますので、図書館へお問い合わせの上、ぜひ御参加ください。

第13回子ども読書感想画コンテスト結果発表！！



子ども読書感想画コンテストとは？

市内の小学生・中学生を対象に、本を読んで感じたことを自由に表現した「読書感想画」を募集して、コンテストを行っています。今年は、233点の応募があり、その中から、優秀な作品を選考し、秋の読書週間中に図書館にて表彰式を行いました。また、中央図書館にて全応募作品の展示を行いました。



市長賞「メッセージ」
光風台三育小学校 6年
菅原 和沙 さん

賞	氏名	学校名	学年
教育長賞	下村 留生	京葉小学校	6年
優秀賞	徳政 光琉	東海小学校	2年
	野田 晃平	清水谷小学校	3年
	徳政 昴春	東海小学校	4年
	田中 春寿	八幡中学校	1年
	小川 結衣	八幡中学校	3年
優良賞	川野 陸	光風台三育小学校	1年
	遠藤 陽斗	光風台小学校	2年
	和田 沙代梨	海上小学校	3年
	佐久間 袖衣	海上小学校	3年
	野田 竜成	ちはら台西中学校	1年
学校奨励賞	五所小学校		

(敬称略)

「更級日記」

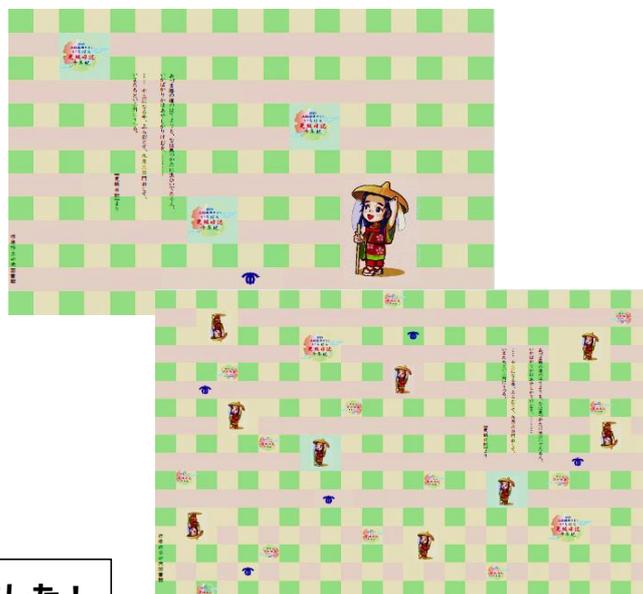
すがわらのたかすえのむすめ

～菅原孝標女が京を目指して1000年～

名作『更級日記』の作者と言えば、御存じの方も多いと思います。更級日記とは、寛仁^{かんにん}4年(1020年)、父の^{かずさのすけ}上総介の任期が終わり、市原市を旅だった13歳の少女時代から、夫を失い孤独になるまでの40年間を書き綴った回顧記です。

令和2年(2020年)は「^{すがわらのたかすえのむすめ}菅原孝標女」が上総国府のある市原市から平安京へと帰る場面が、ちょうど1000年目に当たります。

更級日記は、市原市にゆかりのある作品です。市原市では、1000年の節目を迎える2020年に向けて、様々なイベントを開催しています。



中央図書館では、オリジナルブックカバーを作成しました！
ぜひダウンロードして御利用ください！

ダウンロード URL → http://www.library.ichihara.chiba.jp/index.php?page_id=287





新年に思う雑感



昨年は、“自然災害”の恐ろしさについて考えさせられる年であったと思います。9月の台風15号での家屋倒壊、大規模停電等や10月の台風19号、続いて低気圧の接近による大雨、河川の決壊、氾濫等。いずれも市原市をはじめ、千葉県内の各市町村、県外の自治体でも甚大な被害をもたらし、いまだに多くの方々が大変な思いをされています。また、地震は何の前触れもなく急に襲ってきます。

これらの自然災害に対しては、まず、「知る」ことから始めることが必要だと思います。予備知識は、新聞やインターネット等で得ることができますが、もう一つ付け加えて、図書館の資料を活用してみたいかがでしょうか。身近な地域の防災等を知るツールとして、ハザードマップがあります。図書館では、養老川洪水ハザードマップ(南部・北部)、村田川洪水ハザードマップ、椎津川洪水ハザードマップ、地区別防災カルテを揃えていますので、地域の避難場所等の確認に、少なからずお役に立てると思います。

また、上記の災害等に関する本のみならず、天気・気象のしくみや災害ボランティアに関する本、災害からの防衛術等、多くの本が揃えてあります。多くの方々に図書館資料を活用していただき、自然災害について関心を持っていただければ幸いです。(S)



「市原市情報発信コーナー」の紹介



市原市の情報を発信するコーナーがレファレンスカウンターの近くに 있습니다。市原湖畔美術館の展覧会情報や市内で採択された小学校の教科書をはじめ、「市原市」に関するさまざまな情報を提供しています。2020(令和2)年は、『房総の里山から世界を覗く』をテーマに市原市南部の里山や閉校した学校を舞台に、現代アートフェスティバル「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020」が開催され、さらには、オリンピック・パラリンピックと大きなトピックが目白押し。これからも旬な「市原市」情報をお伝えしていきます。



✿ 図書館管理システム更新及び蔵書点検による 図書館・図書室のお休みについて

図書館管理システムの更新と蔵書点検のため、中央図書館と市内の公民館図書室・コミュニティセンター図書室は休館・休室します。
大変御迷惑をおかけいたしますが、御理解・御協力をお願い申し上げます。

【休館・休室期間】

令和2年1月23日（木）～2月3日（月）

【休館・休室する図書館・公民館図書室・コミュニティセンター図書室】

中央図書館

公民館9施設（姉崎・有秋・五井・国分寺・八幡・辰巳・市津・南総・加茂）

コミュニティセンター3施設（菊間・ちはら台・三和）

※鶴舞公民館及び千種・戸田コミュニティセンター図書サービスコーナーも休止



《中央図書館主催事業報告》

知の情報拠点活用講座

令和元年10月30日（水）

『そうだ、図書館へ行こう！～読む・描く・調べるで認知機能アップ～』を開催しました。

講師 結城 俊也(ゆうき としや) 氏
専門理学療法士（神経）・博士（医療福祉学）・介護支援専門員。

脳は、本を読むときに声に出して朗読することや、作品を読んで理解することで、活性化し、やる気を引き出し、意欲が生まれるそうです。さらに、本で何かを調べたり、想像を膨らませて絵を描くことで、もっと活性化されるとのことです。参加した皆さんは、「本を読むこと」での認知機能への効果について聞き入っていました。



市原の歴史講座

令和元年11月2日（土）

『知っておきたい「更級日記といちはら」のこと』を開催しました。

講師 田所 真(たどころ まこと) 氏
市原市埋蔵文化財調査センター所長、市原市立中央図書館館長補佐を歴任。日本考古学協会・国史学会会員。

参加した皆さんからは、「更級日記を身近に感じることができ、大変分かりやすかったです。」「改めて市原のことを好きになれました。」など、たくさんの感想をいただきました。講師の分かりやすいお話に、参加した皆さんも頷きながら千年前の市原に思いを馳せていました。



《中央図書館利用案内》



★開館時間 午前9時30分～午後5時

※水・金曜日は1階第1フロア・第2フロアのみ午後7時まで

ただし、祝日の場合は除く

※児童室・視聴覚コーナーは全日午後5時まで

★貸出冊数・貸出期間

図書・雑誌 10冊まで

視聴覚資料 2点までいずれも2週間

★休館日 毎週月曜日

毎月平日最終日（月末図書整理日）

特別整理期間（蔵書点検等）

年末年始（12月29日～1月3日）

★初めて図書利用カードを作るには住所氏名の確認できるもの（運転免許証等）をお持ちください。